

GS1バーコードのSimple Scanのために ~データとバーコードのキホン~

医療機関で使用するGS1バーコードの基本

第39回医療情報学連合大会・第20回日本医療情報学会学術大会 2019年11月21日 GS1ヘルスケアジャパン協議会 高井 弘光



私が発表する今回の演題について 開示すべきCOIはありません。

本日のテーマ



- 1. GS1 (ジーエスワン) とは
- 2. GS1標準の基礎① GS1識別コード
- 3. GTINに関する医薬品・医療機器等の注意点!
- 4. GS1標準の基礎② バーコードシンボル
- 5. バーコードシンボルに関する医薬品・医療機器等の注意点!
- 6. GS1 Japan Scan (簡易チェックアプリ) の紹介
- 7. 参考資料の紹介



1. GS1 (ジーエスワン) とは



商品識別コード、バーコード等の標準化を行う国際的な流通標準化推進組織



The Global Language of Business



1. GS1 (ジーエスワン) とは



実は、日常生活でかなりGS1の仕組みは活用されています



買い物時の精算処理に



ケース、段ボールなどの単位での納品、入出荷、棚卸管理等に



1. GS1 (ジーエスワン) とは



一般商材だけでなく、医療の分野でも世界的に活用が進んでいます

- 近年、偽造品防止や物流の効率化等を目的として、世界で医療用医薬品・医療機器等にGS1標準バーコード・電子タグが取り入れられている
- 日本は世界に先行して、医療分野にGS1標準バーコードを導入した
- 特に、調剤包装へのバーコード表示は、まだ各国で進んでいない部分





2. GS1標準の基礎① 前提① コードとバーコードシンボル



重要なこと コードとバーコードシンボルを切り離して考える!



数字、文字、記号などのデータ自体 4569951116179

一般商材の場合





医療用医薬品の場合



バーとスペースで 構成される 情報媒体







GS1標準の基礎① 前提② GS1標準バーコード



本日使用する用語について





2. GS1標準の基礎①前提③ 一次元シンボルと二次元シンボル



本日使用する用語について

- バーコードシンボルには、**一次元シンボル**と**二次元シンボル**がある
- **GS1標準バーコード**の一次元シンボル、二次元シンボルは次のとおり。

区分	バーコードシンボルの例	GS1標準バーコードの種類
一次元シンボル	(01) 04569951116179 (01) 04569951116179	JANシンボル ITFシンボル GS1データバー GS1-128シンボル
二次元シンボル	(17) 180110 (10) ABC123	─ GS1データバー合成シンボル GS1データマトリックス GS1 QRコード



2. GS1標準の基礎① 前提④ 医療用医薬品・医療機器等の違い



本日使用する用語について

● 医療用医薬品と、医療機器・医療材料・体外診断用医薬品(医療機器等)は、 それぞれ、バーコード表示について、**異なる**厚生労働省通知が定められている。

区分	内容
医療用医薬品	医療用医薬品へのバーコード表示の実施要項 (2016年 8月30日発出)
医療機器、医療材料 体外診断用医薬品	医療機器等への標準コード付与(バーコード表示) の実施要項 (2008年 3月28日発出)

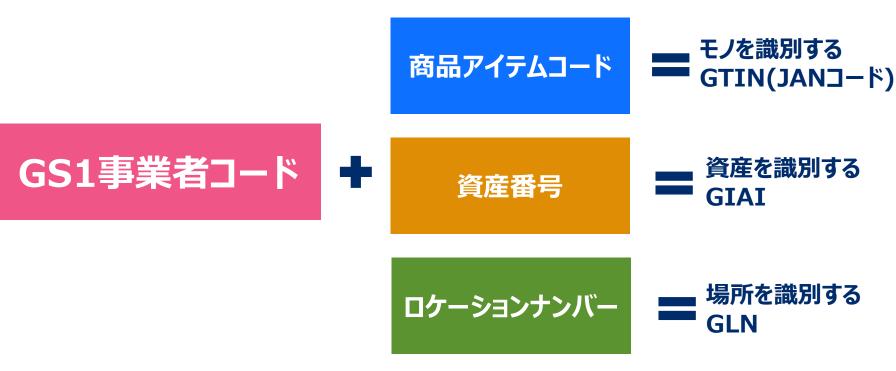


GS1標準の基礎① GS1識別コード



GS1識別コードの仕組み

● GS1事業者コードに、さまざまな番号を組み合わせて、さまざまなモノを識別する



※GS1識別コードは現在12種類ある。



GS1標準の基礎① GS1識別コード: GTIN (ジーティン)



GTIN (Global Trade Item Number)

- GS1標準の商品識別コード=世界どこでも使える商品番号
- 4種類の桁数がある(8桁、12桁、13桁、14桁の数字)
- 一番基本となるのが13桁の **GTIN-13**
- ●「どの事業者の、どの商品か」を識別することができる!

メーカーがつけ る商品アイテム コード

4569951110016

GS1事業者コード



商品アイテムコード



チェック デジット

※現在、GS1ジャパンが発番しているGS1事業者コードは、7桁と9桁の2種類がある。

日本ではJANコード とも呼ばれる。



2. GS1標準の基礎① GTIN (ジーティン)



GTIN(商品識別コード)は、なぜ世界共通で使えるか

4569951110016

The Global Language of Business

GS1事業者コード

商品アイテムコード



各国のGS1加盟組織が、事業 者ごとに番号が重複しないよう に管理

事業者が商品ごとに 番号が重複しないよう に管理





2. GS1標準の基礎① GTIN (ジーティン)



GTIN(商品識別コード)はパッケージごとに変わる

- GTIN-13を基本に、異なるパッケージには、異なるGTINを設定
- この際よく使われるのが、14桁のGTIN-14

● GTIN-13の先頭に インジケータ* と呼ばれる1桁の数字をつけて設定

14569951110013

GS1事業者コード 南品アイテムコード

13

※インジケータの役割:インジケータは1~8までの1桁の数字で包装形態や入り数の違いなどの識別に用いる。 インジケータ9は、量り売りの肉など不定貫(重さなどが都度異なる)商品にのみ用いられる。

The Global Language of Business



GS1標準の基礎① GTIN(ジーティン)



GTIN(商品識別コード)はパッケージごとに変わる

● **GTIN-13を基本**に、中箱、外箱に**GTIN-14**を設定した例



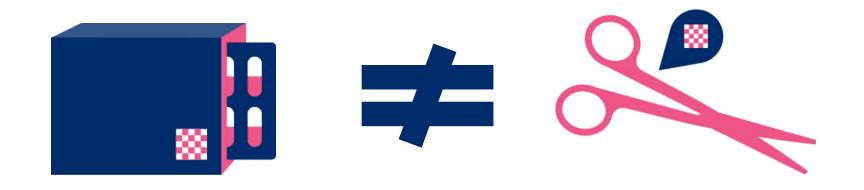


3. GTINに関する 医薬品・医療機器等の注意点!



メーカーが設定するGTIN(商品識別コード)を利用する場合

- 医療用医薬品と医療機器等は、それぞれ異なる厚生労働省通知に基づき、GTINが設定される。
- 医療用医薬品と医療機器等はGTIN設定のルールが異なる



詳細は、2か月に1回開催の「医療用医薬品・医療機器バーコード入門講座(有料)」で解説しています



3. GTINに関する 医薬品・医療機器等の注意点!

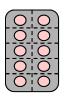
医療用医薬品



国内の医療用医薬品へのGTIN(商品識別コード)設定

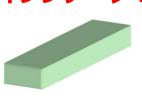
- 医療用医薬品の場合、**販売包装のインジケータは1、元梱包装のインジケータは 2**と決められている(医療機器等にこのようなルールはない)
- 調剤包装と販売包装の商品アイテムコードを必ず変えなければならない

調剤包装単位



4512345000035

販売包装単位 **(インジケータ:1)**



元梱包装単位

(インジケータ:2)

<u>1</u>4512345<u>00001</u>8

<u>2</u>4512345<mark>00001</mark>5

販売包装単位と、 商品アイテムコードが異なる

(販売包装と異なるGTIN-13 (JANコード)の設定が必要)



販売包装単位と、 商品アイテムコードは同じ



医療機器等

3. GTINに関する 医薬品・医療機器等の注意点!



医療機器等へのGTIN(商品識別コード)設定

● 異なるパッケージには、異なるGTINを設定すればよい(=インジケータ・商品アイテム コードの設定に関する日本独自のルールはなく、世界共通のルール)







GTIN-13

例	個装	中箱	外箱
例 1	4912345000019	14912345000016	34912345000010
例 2	4912345000019	4912345001153	4912345000200
例3	24912345000013	4912345000019	14912345000016





重要なこと コードとバーコードシンボルを切り離して考える

- コードを設定したら、適切なバーコードシンボルを選択してバーコード化する。
- 一般的な商品に使われるJANシンボルは、GTIN-13しかバーコード化できない。
- 医薬品、医療機器等は、GTIN(商品識別コード)以外の情報も表示する必要 があるため、JANシンボル以外のバーコードが選択される。



GTINしかバーコードで 表示できない。





GTIN以外の情報も バーコード表示できる!!

2345000035 (17) 210515 (10) ABC123 (21) 10002345

GTIN

有効期限

The Global Language of Business

ロット番号 シリアル番号





GS1アプリケーション識別子(Application Identifier: AI)

- 有効期限、ロット番号など、商品に関連するさまざまな情報の先頭につけて使用
- データ項目とフォーマット (データの内容、長さ、使用可能な文字) を定義するもの
- 例えば、AI 17は有効期限、フォーマットはYYMMDDの6桁数字(既定固定長)





19

を示すAI



GS1アプリケーション識別子(AI)一覧表

- 現在、標準化されているAIは100種類以上
- GS1アプリケーション識別子一覧表

https://www.dsri.jp/standard/identify/ai/explanation08.html



AIを使うメリット

▶互換件:

異なるメーカ、システム間でも共通の方法でデータの 伝達ができる。

▶拡張性:

データ項目の追加や変更、削除が容易

▶ 国際性:

グローバル標準のため、海外との取引でも利用可能





医療分野で使われる代表的なGS1アプリケーション識別子(AI)

AI	データ項目	データフォーマット	備考
01	GTIN	14桁の数字	既定固定長
17	有効期限日	6桁の数字 YYMMDD	既定固定長
10	バッチ/ロット番号	20桁以内の英数記号	可変長
21	シリアル番号	20桁以内の英数記号	可変長

GTIN-13を表現する場合、 **先頭に0** (特段の意味をも たない) を足す。

※国内の医療用医薬品では、順番も含めて、使用できるAIが厳密に決められている。

※Nは数字を表す。

_	т	リーディング		GTIN-13											
AI ヴーディング GS1事業者コード 商品アイテムコード							コード	C/D							
0	1	0	N ₁	N ₂	N ₃	N ₄	N ₅	N ₆	N ₇	N ₈	N 9	N ₁₀	N ₁₁	N ₁₂	N ₁₃
	例	0	4	5	6	9	9	5	1	1	1	0	0	1	6

^	Τ.	GTIN-14													
A	11	インジケータ				GS1	事業者	コード				商品	アイテム	コード	C/D
0	1	N ₁	N_2	N_3	N_4	N_5	N_6	N ₇	N ₈	N ₉	N ₁₀	N ₁₁	N ₁₂	N ₁₃	N ₁₄
	例	1	4	5	6	9	9	5	1	1	1	0	0	1	3





AI(17):有効期限日(6桁の数字YYMMDD:既定固定長)

ΛТ		有効期限日			
AI	年	月	日		
1 7	$N_1 N_2$	$N_3 N_4$	$N_5 N_6 $		

年月のみの有効期限日の場合は、日を00で 埋める。(例:2021年10月→211000)

※Nは数字を表す。

AI(10):バッチ/ロット番号(20桁以内の英数記号:可変長)

AI	バッチ番号またはロット番号	
1 0	X ₁ ────── 可変長 ─────	

AI(21):シリアル番号(20桁以内の英数記号:可変長)

AI	シリアル番号	
2 1	X ₁	כ

※Xは英数記号注を表す。

注:使用できる英数記号は、0~9までの数字、アルファベット および右表の記号。"@"や"スペース"は使用できない。

!	ıı.	%	&	1	()	*	+	,
ı	/		::	;	\	>	=	?	





GS1アプリケーション識別子(AI)のカッコの取扱い

● AI (01) の"カッコ"はバーコードには入っていない (バーコードの下に書かれる目視可能文字には、人間が目で見てわかりやすいように便宜上、"()"がつけられている)







データの終わりに制御記号が必要なもの

- 既定固定長でないデータの場合(ロット番号、シリアル番号など)、バーコードの終わりでないときはデータの終わりを示すための制御記号が必要となる。
- これまでは、GTIN(ジーティン)、有効期限、ロット番号の3種類のみをバーコード化する例が多かったが、医療機器等ではこれ以外の組合せの例も出てきている。
- データの終わりを示す制御記号をどのように処理する(できる)かは、バーコードリー ダーによって異なる ⇒ 上位システムとの整合を図ることが必要





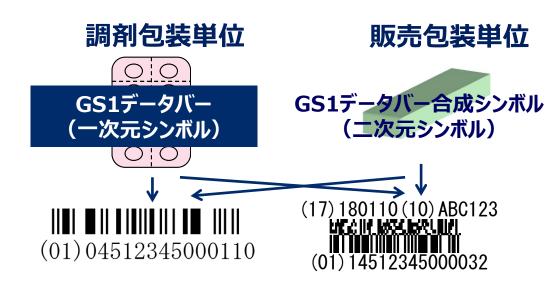
医療用医薬品

5. バーコードシンボルに関する 医薬品・医療機器等の注意点!



GTINの設定方法だけでなく、バーコードの種類も異なる

- **国内の医療用医薬品**は、包装の種類によって表示するバーコードが決められている
- 販売包装にはGS1データバー合成シンボルが使用される(※)が、GS1データバー合成シンボルの情報をすべて読み取りたい場合には、カメラ方式のバーコードリーダーが必要



※現在、医療用医薬品販売包装については、GS1データバーからGS1データバー 合成シンボルへの移行期間に当たるため、GS1データバー表示のものもある。

元梱包装単位

GS1-128 (一次元シンボル)



注意:日本の医療用医薬品業界では元梱包装 に「数量」を表示する。(業界ルール)



医療機器等

5. バーコードシンボルに関する 医薬品・医療機器等の注意点!



GTIN設定方法だけでなく、バーコードの種類も異なる

- **医療機器等**の場合、**GS1-128シンボル**が主に使われ、パッケージが小さい場合には**GS1** データマトリックスも使用される(医療用医薬品のように、厳密な決まりはない)
- GS1データマトリックスは二次元シンボルであり、読み取りにはカメラ方式のバーコード リーダーが必要。
- ダイレクトマーキングされている場合、ダイレクトマーキングに配慮したリーダーが必要。









5. バーコードシンボルに関する 医薬品・医療機器等の注意点!



バーコードリーダでの読み取りの実例

GTINだけでなく、有効期限日、ロット番号等もバーコードから入力でき

望ましい システム

GTINに加え

有効期限日

シリアル番号

ロット番号

商品マスターに商品識別コード14桁すべてをもつ電子カルテシステム



(01)04569951110016(17)201005(10)ABC123(21)12345

バーコードシンボル のデータすべてを 出力する設定



010456995111001617201005 10ABC1232112345

電子カルテシステム





商品名 **GTIN** 04569951110016







商品マスターA

ABC

The Global Language of Business



5. バーコードシンボルに関する 医薬品・医療機器等の注意点!



バーコードリーダでの読み取りの実例

- **GTIN (商品識別コード) 情報を13桁**しかもてない電子カルテシステム
 - ⇒ 以下の対応方法もありますが・・・・



(01)04569951110016(17)201005(10)ABC123(21)12345

有効期限日 ロット番号 シリアル番号 が使えない

4桁目から13桁の データを出力する 設定

読み取ったデータ

010<mark>4569951110016</mark>17201005

10ABC1232112345

4569951110016



電子カルテシステム

商品マスターB

4569951110016

GTIN 商品名

4569951110016

ABC





5. バーコードシンボルに関する 医薬品・医療機器等の注意点!



このやり方で本当に大丈夫?

- 海外の製品には、GTINの先頭がゼロでない個装もある
- チェックデジットは、先頭がゼロの場合と異なる(以下の例では6 ⇒ 3)



(01)14569951110013(17)201005(10)ABC123(21)12345

4桁目から13桁 を出力※する設定 ※チェックデジットの 再計算機能がない リーダの場合



商品マスターB(13桁)

商品識別コード 商品名

該当なし 4569951110016



見つからない

ポイント(期待):

- 1. GTIN以外のデータ(有効期限、ロット番号等)もバーコードから自動入力可能な GS1標準に対応した上位システムの開発。
- 2. バーコードリーダからのデータと、商品マスターのデータ形式は整合のとれたものに。

The Global Language of Business



6. GS1 Japan Scan (簡易チェックアプリ) の紹介 <開発の背景と目的>

- 医療用医薬品、医療機器等へのGS1標準バーコードの表示が進んでいる
- 市場には、**GS1標準**に合致しないバーコードシンボルも存在
- **GS1-128シンボル、GS1データマトリックス、GS1データバー**などを読める スマートフォンアプリが少ない



GS1標準バーコードを読むことができ、 GS1標準、厚労省通知などへの適合が確認できるツールの提供



トラブルの未然防止とGS1標準バーコードの利用推進を図る



6. GS1 Japan Scan (簡易チェックアプリ) の紹介 <機能概要 ①できること>



1. GS1標準バーコードかどうかを確認

例 見た目では区別がつきにくい**コード128とGS1-128シンボル**の判別



コード128 GS1-128

2. 厚労省通知に基づく**国内のヘルスケア業界のルール**で指定されている バーコードの種類か、データが正しいかをチェックし項目名毎に表示

	Ш
67	
	.

医療機器						
AI:項目名	值					
01:商品コード	04569951116179					
17:有効・使用期限	2025/12/31					
10:ロット番号	ABC					



6. GS1 Japan Scan (簡易チェックアプリ) の紹介 <2できること (続き) >



2. バーコードデータの簡易チェック

- GTINの**チェックデジット**チェック
- 目視文字に表される"カッコ"がバーコードシンボルに表現されていないか
- GS1標準で**使えない文字**の使用や**文字数制限**の超過がないか
- 既定固定長でないデータの終わりを示す制御記号が正しく置かれているか

エラー表示の例



GS1標準バーコードでは使えない文字が含まれています。

21:シリアル番号 ABC▲123

GS1標準で使える、英数字以外の文字は以下のとおりです。

!"%&()*+,-./:;<=>?_

注:スペースを使うことはできません。

エラー:チェックデジットが間違っています。



(参考) 医療機器のバーコード表示に関する GS1標準関係資料



医療機器等のための UDI対応バーコード 表示ガイド



医療機器本体への バーコード表示 -活用メリットと表示位置の考え方-



医療機器等への ダイレクトマーキング 運用ガイド



GS1ヘルスケアジャパン協議会HPよりダウンロード可

https://www.dsri.jp/gshealth/



まとめ



- 世界各国で、医療製品への**GS1標準バーコード**の表示義務化が進む
- 日本では、先行した取組みにより、**GS1標準バーコード**の表示率は高い
- 医療安全・効率化に向け、医療機関での**GS1標準バーコード**活用が進む
- バーコード活用のためには、医療用医薬品、医療機器等に設定するコードの 特徴、バーコードの種類、データの表現方法を知ることが重要
 - ⇒ バーコードリーダーの選定・設定も重要 (詳細はこの後で)
- 医療システムベンダーには、**GS1標準**に対応できるシステム開発を期待



GS1は、各種ガイドラインなどの情報提供、ツールの開発など、GS1標準の正しい理解と活用促進のための活動を今後も進めていきます



ご清聴ありがとうございました。

GS1 Japan (一財) 流通システム開発センター ヘルスケア業界グループ

107-0052 東京都港区赤坂7-3-37 プラース・カナダ3階 TEL 03-5414-8535 FAX 03-5414-8513

Email dsh16@dsri.jp

GS1 ヘルスケアジャパン協議会 https://www.dsri.jp/gshealth/



